

議会の活動

平成30年
(2018年)12月
第163号

広報なごや 市会だより

市会だよりについて

市会だよりとは、市会の諸活動を広く周知することにより、議会への理解と関心を高めることを目的に発行しています。より分かりやすい紙面づくりを目指すため、平成22年6月号の市会だよりから、議員で構成する編集委員会を設置しました。

また、議会の活動に関する情報を市民のために積極的に公開・発信するため、平成23年度から市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしまいいりました。しかし残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められませんでしたので、平成30年度も現時点では年7回の発行を予定しています。

9月定例会特集号

9月定例会は、9月14日から10月17日までの34日間にわたって開かれ、条例案、補正予算や平成29年度決算認定案など市長提出案件43件、議員提出議案6件についての審議などを行いました。

9月定例会の日程

開 会	9/14 本会議	9/20～25 本会議	9/26～10/2 常任委員会	10/3 本会議	10/5～15 常任委員会	10/17 本会議	閉 会
	市長提出案件について 市長より提案説明	議案外質問 (詳細は、2・3面)	市長提出案件について 審 査	市長提出案件などについて 議 決 決算認定案について 市長より提案説明	決算認定案について 審 査	決算認定案などについて 議 決	

台風第21号による災害復旧などの補正予算を可決

●「平成30年度名古屋市一般会計補正予算(第3号)」など4件は、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

【主な内容】

(1万円未満は四捨五入)

台風第21号による災害復旧 台風第21号による被害に対し早急に対応するため、道路照明などの復旧や街路樹・公園樹の撤去を行うものです。	2億1,500万円
保育所及び学校のブロック塀撤去等の設計 保育所及び小・中・高等学校において、現行の建築基準に不適合のブロック塀等の撤去及びフェンス新設の設計を行うものです。	2,770万円
地域密着型サービス事業所等の消防設備整備補助 地域密着型サービス事業所等のスプリンクラー設備などの設置に対する補助を行うものです。	1,903万円
市民御岳休暇村セントラル・ロッジ等復旧工事の設計 平成29年6月に発生した長野県南部の地震により被害を受けたセントラル・ロッジ等復旧工事の設計を行うものです。	1,100万円
総合リハビリテーションセンターにおける就労定着支援及び自立生活援助 障害者総合支援法の改正により、総合リハビリテーションセンターにおいて、障害者の就労定着支援や自立生活援助を新たに実施するものです。	644万円
再犯防止推進モデル事業 軽微な犯罪によって起訴猶予処分となり、福祉的な支援が必要とされた高齢者・障害者・若者を関係窓口につなぎ、その後の状況確認や必要な支援などを実施するものです。	402万円



台風第21号により倒れた街路樹



市民御岳休暇村セントラル・ロッジ

平成29年度決算認定案について「認定」または「可決及び認定」

●「平成29年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」など各会計決算認定案19件については、全会一致または賛成多数により、「認定」または「原案どおり可決及び認定」しました。

一般会計の 決算状況

- 歳入決算額は1兆1,658億円余、歳出決算額は1兆1,596億円余でした。
- 前年度に比べ歳入は954億円余増加し、歳出は1,010億円余増加しました。
- 翌年度繰越財源31億円余を差し引いた実質収支は31億円余の黒字でした。



➡「平成29年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定について」は、採決に先立ち、日本共産党から反対討論(理由:市民税減税により財源不足をつくり出し、福祉・教育の民間委託や公共施設の統廃合を推進したこと。過大な需要予測に基づき、大型事業を推進したこと。)が行われました。



決算認定とは

前年度の予算が適正に使われたか、事業が効果的・効率的に執行されたかなどを常任委員会で慎重に審査して、本会議で認定(または不認定)します。

9月定例会
決 算
検 証

「決算」を十分に審査することで、今後の「予算」にしっかりと生かしていきます。

2月定例会
予 算
反 映

提出案件の賛否、決算認定案の委員会審査については、4面をご覧ください。

◆◆◆ 議 案 外 質 問 から ◆◆◆

9月20日から25日の本会議では、30人の議員が市政全般に対する議案外質問を行い、市長はじめ市当局の考えをたえました。主な質問・答弁の概要は次のとおりです。(発言順に記載してあります。)

名古屋市会

検索



本会議での質問などが委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)からパソコンやスマートフォンなどで録画中継を視聴できます。ぜひご視聴ください。

9月20日(木曜日)

山口清明 議員(共産)

複合災害への備え

質問 本市の地域防災計画では、大きく風水害と地震災害を想定しているが、この夏に台風や地震などが同時または連続して発生した災害を踏まえ、本市は複合災害へどのように備えていくのか。

答弁 防災対策は、複合災害も視野に入れて進める必要があると認識している。複合災害への対応としては、現行の実施計画の着実な実施に加え、次期実施計画へ位置づけることにより、それぞれの災害に対応したハード整備や各種訓練の実施などのソフト対策を進めていく。(防災危機管理局長)

大村光子 議員(減税)

超高齢社会における成年後見制度の活用

質問 超高齢社会に向け、高齢者が自分らしく生きるための備えとして、自らの意思であらかじめ後見人を決めておくことができる任意後見制度の活用促進を図るべきでは。

答弁 任意後見制度は、本人の自発的意思を尊重する観点から、判断能力があるうちに利用促進を図っていく必要があると認識しており、いきいき支援センターなどに法律の専門家を派遣してアドバイスを行う取り組みなどを前向きに検討していきたい。(健康福祉局長)

西川ひさし 議員(自民)

学校施設における空調設備

質問 保健室をはじめとする管理諸室の空調設備は、今年のような猛暑では子どもたちの命綱であることや、学校の避難所としての役割を踏まえ、計画的に更新していくべきでは。

答弁 学校は、子どもたちの教育・生活の場であり、災害時の防災拠点であることから、細心の注意を払って維持管理に努めるべきと考えている。管理諸室の空調設備の計画的な更新について、来年度に向けてしっかり議論し、検討していく。(廣澤副市長)

くにまさ直記 議員(民主)

災害時健康危機管理支援チームの構築

質問 平成30年7月豪雨では、本市に管理栄養士などの派遣依頼があったものの被災自治体への派遣に至らなかったことを受け、災害時健康危機管理支援チーム「DHEAT」の構築に本腰を入れるべきでは。

答弁 派遣に至らなかった原因は構成員の職種の偏りであると認識しており、今後はより幅広い職種の養成を視野に、研修への職員派遣を検討するなど、派遣依頼に確実に応えられるよう、DHEATの養成を進めていく。(健康福祉局長)

三輪芳裕 議員(公明)

食品ロス削減への取り組み

質問 食品ロス削減を推進するため、フードドライブの拠点を増設するとともに、「30・10運動」にちなんで毎月10月を食品ロス削減月間と位置づけてアピールしては。

答弁 現在のフードドライブの拠点であるエコパルなごやは、駐車場がなく不便な面もあるため、なごや生物多様性センターを新たな拠点としていく。また、平成30年10月を食品ロス削減月間と位置づけ、市民の関心が高まるよう、より一層働きかけていく。(環境局長)

鎌倉安男 議員(無ク)

中志段味特定土地区画整理事業における組合債務

質問 100億円を超える組合債務について、これまでの事業認可の甘さなどを見ると市の責任は免れないはずであり、緊急避難措置として、無利子貸し付けや保留地の先行取得などの支援策を早期に実施するべきでは。

答弁 組合債務の返済は、事業再建に当たって最優先の課題であると認識している。事業再建の検討を進める中で、今後、組合が事業を推進するために必要な行政支援について、総合的に検討していきたい。(河村市長)

さいとう愛子 議員(共産)

名東図書館の充実

質問 「なごやアクティブ・ライブラリー構想」により名東図書館の蔵書数が減ることには反対の声が多い。現状の蔵書数の維持が、図書館機能を充実させる絶対必要な条件になるのでは。

答弁 これからの図書館は、蔵書数を含め、利用目的に合わせた3つのタイプとし、いずれも魅力のある施設にしていきたいと考えている。蔵書は利用状況や市民ニーズなどを踏まえたものとし、ブロック全体で機能の向上を図り、より充実したサービスを提供できるようにしていきたい。(教育長)

浅井康正 議員(減税)

市営屋外プールにおける日焼け止めクリームの使用

質問 本市では市営屋外プールで日焼け止めクリームの使用を認めていないが、専門家から「日焼け止めクリームを使用しても水質は悪化しない」との指摘もあるため、状況に応じて日焼け止めクリームの使用を解禁していくべきでは。

答弁 紫外線が体に与える悪影響を踏まえ、水に溶けにくいクリームの使用を推奨するなど、利用者が安心して快適に利用できるよう留意しつつ、日焼け止めクリームを使用できるよう検討を進めていきたい。(教育長)



市営屋外プール

北野よしはる 議員(自民)

災害現場における消防団員による誘導合図

質問 消防団が災害現場で二次災害防止のために行う立入制限や避難誘導などを、自信を持って実施できるよう、合図の方法についてマニュアルを作成し、全市的に統一しては。

答弁 消防団が用いる合図は、消防団が住民の避難誘導にも従事することを踏まえて、誰にでもわかりやすく、統一されたものである必要がある。年内にも統一なマニュアルを作成して、消防団の定例会などの機会を捉え周知し、早期に運用開始できるよう努めていく。(消防長)

塚本つよし 議員(民主)

新堀川での水質浄化施設設置と官民連携の取り組み

質問 新堀川の継続的な水質浄化に向けて、見せる水質浄化が可能な噴水式の曝気(ばっき)施設の導入を検討しては。また、地元住民や企業など連携し、水質浄化や水辺空間の活用を推進しては。

答弁 新堀川は、名古屋の都心を流れる大変貴重な水辺空間であり、今後、他都市の事例も参考にしながら水質浄化の取り組みを検討していく。また、地元の方々の声を聞きながら、官民連携による水質浄化も含めた水辺空間の活用を検討していく。(緑政土木局長)



新堀川

9月21日(金曜日)

沢田晃一 議員(公明)

動物愛護に取り組む民間組織の立ち上げ

質問 犬の殺処分ゼロを継続し、猫の殺処分ゼロを目指すため、市の主導で行政の枠にとられない「犬猫版・社会福祉協議会」のような民間組織を立ち上げてはどうか。

答弁 飼い主などへの啓発強化などの事業を円滑に推進するためには、さらなる民間活力の活用が必要と考えている。他都市の事例も参考にしつつ、ボランティアの取りまとめや支援・育成などの動物愛護事業を担う民間組織の構築に向けて検討を進めていく。(健康福祉局長)

青木ともこ 議員(共産)

名古屋駅バスターミナルの暑さ対策

質問 名古屋駅バスターミナルは空調設備がなく、夏は相当な暑さになる。空調設備の設置は立地が半屋外という構造上の課題があるが、スポットクーラー設置などの暑さ対策が必要では。

答弁 暑さ対策として、非常扉の一部を開放するとともに、密閉の明かり取りとしてのガラス窓を風を通すことができる窓枠に取り替え、外気が流れるような対策を講じている。今後も、お客様の声を踏まえながら、バスターミナル事業者と協議し、検討していく。(交通局長)



名古屋駅バスターミナル

鹿島としあき 議員(減税)

日本一子育てしやすいまち名古屋を目指す取り組み

質問 社会に求められる人材の育成こそが教育改革の方向性であると思うが、世界の教育観の変動を見据えた中で、なごやっ子的育成をどのようにしていくのか。

答弁 人生のあらゆる場面で子どもたちを支援するライフキャリア支援に取り組み、子どもの潜在的な能力を引き出すことが必要であると考えている。平成31年度から5か年を計画期間とする第3期名古屋市教育振興基本計画の中で、新しい時代を生き延びる力を育成していきたい。(教育長)

渡辺義郎 議員(自民)

中部国際空港の二本目滑走路の整備とアクセスの充実

質問 中部国際空港の二本目滑走路とあおなみ線の中部国際空港への延伸に対する本市の考えは。また、それらを実現するため組織体制の強化が必要では。

答弁 当地域の産業力を落とさない上で、中部国際空港の二本目滑走路や本市からセントレアへのアクセスの充実は極めて重要である。来年度の初めには、所管局の変更も含めた本市の体制強化と、あおなみ線の延伸について関係者で調査検討する組織の立ち上げができるよう努めていく。(河村市長)



あおなみ線

森 ともお 議員(民主)

名古屋城を核とした名古屋の魅力向上策

質問 世界に誇る「ものづくりの街」である名古屋の魅力を国内外に発信するツールとして、セグウェイやトヨタウィングレットなどの搭乗型移動支援ロボットを名古屋城内で活用してはどうか。

答弁 名古屋城内における搭乗型移動支援ロボットでの走行は、話題性も大きく、誘客効果や名古屋城のPRにもなることから、安全な走行を前提に、さまざまな課題を整理し、来年度の実施に向けて検討していきたい。(観光文化交流局長)

小林祥子 議員(公明)

災害時における使い捨て哺乳瓶及び液体ミルクの活用

質問 発災直後でもミルクを与えられるよう、消毒・洗浄が不要な使い捨て哺乳瓶も早期に備蓄するべきでは。また、国内での製造・販売が解禁された液体ミルクが少しでも早く行き渡る方策を講じるべきでは。

答弁 使い捨て哺乳瓶は、来年度からの備蓄の実現に向けて関係局と調整していく。また、液体ミルクは、国内での製造や商品化が開始された際には事業者と協定を締結し、災害時に確実に行き渡る取り組みを進めていく。(防災危機管理局長)

高橋ゆうすけ 議員(共産)

本市の地球温暖化対策

質問 温室効果ガスの削減には、行政の主体的な自然エネルギーの活用の取り組みが欠かせない。小水力や地中熱など、未活用エネルギーの導入についての位置づけと今後の具体的な検討は。

答弁 低炭素都市なごや戦略第2次実行計画では、再生可能エネルギー源の多様化を図る観点から、小水力や地中熱などの導入促進をしていくものと位置づけている。今後、最新技術の情報収集に努め、他都市の事例などを調査し、導入促進に向けて取り組んでいきたい。(環境局長)

高木善英 議員(減税)

災害時におけるリアルタイムな情報の収集・活用

質問 災害時の被害状況の共有や迅速な把握のため、ツイッターなどのSNSにおいて、本市公式災害用ハッシュタグなどの「#名古屋市災害」を定め、活用しては。

答弁 政令市初となる本市公式災害用ハッシュタグ「#名古屋市災害」を一日でも早く定め、ウェブサイトをはじめあらゆる機会を捉えて周知を図っていく。また、訓練で市民に実際に使用していただくなど、その有効活用策についても検討していく。(防災危機管理局長)

浅井正仁 議員(自民)

名古屋城天守閣木造復元の今後の見通し

質問 基本計画書案が10月の文化審議会に諮られなかった場合、次の審議会は来年5月となるが、完成は2022年12月に間に合うのか。また、その回答は竹中工務店から得ているのか。

答弁 10月の審議会に諮られなかった場合でも、できるだけ早い時期に現状変更許可の見通しを立て、2022年12月の完成を守れるよう努力していきたいと考えていることから、現時点で竹中工務店と具体的な協議は行っていない。(廣澤副市長)

松本まもる 議員(民主)

市営交通における次世代エネルギーバス車両の導入

質問 CO₂の抑制効果や、お客様へのより快適な車内環境の提供と乗務員の猛暑による疲労軽減の観点から、市営交通で環境に配慮した次世代エネルギーバスを導入することについての考えは。

答弁 次世代自動車のうち、燃料電池バスと電気バスはともに、環境面で優れ、走行用モーターが停止している状態で夏期に車内温度を一定に保つことができるため、次世代バスについては、今後の進展を見守りつつ、引き続き情報収集に努めていく。(交通局長)

9月25日(火曜日)

中村 満 議員(公明)

期日前投票所の混雑緩和

質問 昨年の衆議院議員総選挙では、期日前投票所が混雑した。次の選挙に向けて、期日前投票所の混雑緩和策を早期に実施するべきでは。

答弁 来年執行予定の愛知県知事選挙に向けて、総合的な混雑緩和策を早急に実施していきたい。具体的には、期日前投票所の受付用端末の増台、投票所の変更やレイアウトの見直しなどのほか、職員の執務能力の向上や、ウェブサイト等による混雑予想などの情報提供にも努めていく。(選挙管理委員会委員長)



期日前投票所

江上博之 議員(共産)

名古屋城天守閣整備事業の見直し

質問 市長がこだわっている2022年の完成に市民合意はない。市民の意見を聞くために一旦立ちどまり、計画を見直すべきではないか。

答弁 市長選挙で天守閣木造復元を公約に掲げ市民から選ばれたことや、議会での議決に従って実行していかなければならないこと、現在の天守閣は耐震性が低く早く解体する必要があること、本物に復元して千年残していくことは使命だと思っていることから、計画を見直すつもりは全くない。(河村市長)

浅野 有 議員(自民)

名古屋城周辺の魅力向上

質問 名古屋城のさらなる魅力向上策として、名古屋城周辺道路に桜を植樹した回廊を整備すれば、回遊性を高められると考える。桜は寄附していたらと聞いており、リニアが開業する2027年を目指して桜の回廊を完成させることはできないか。

答弁 桜の回廊は名古屋の魅力向上につながり、新たに植える桜を寄附していただけたらということになれば、大変ありがたい話であるので、リニア開業の2027年の完成を目指して取り組んでいきたい。(緑政土木局長)

山田昌弘 議員(民主)

私立幼稚園(私学助成)に対する今後の取り組み

質問 平成29年度に創設された、私立幼稚園の健康診断などに従事する園医等に対する補助は、一園当たり定額で補助されており、園児の人数の多いところほど保護者や幼稚園の負担になっている。園医等への補助を拡充するべきでは。

答弁 厳しい財政状況の中、一園当たり定額の補助としているが、園によっては負担が大きいかとも認識している。園児の健康管理の重要性を鑑み、園児の人数に応じた補助の加算について検討していきたい。(教育長)

松井よしのり 議員(自民)

公園トイレへのトイレトペーパー設置

質問 他都市では、公園にトイレトペーパーを設置する動きが広がっているが、本市においても、訪日外国人のおもてなしの一つとして、公園にトイレトペーパーを設置するべきでは。

答弁 市民の皆様への公園トイレに対するニーズや意識も変化していることなどから、設置を検討していく必要があると考えている。まずは平成31年度から試行的に設置して検証するとともに、他都市の事例も参考にしながら実施に向けて検討していく。(緑政土木局長)

日比美咲 議員(民主)

本市における新型コロナウイルス対策

質問 新型コロナウイルスの流行から10年の節目を迎える今、新型コロナウイルスの発生時に必要となる医療資器材の備蓄の見直しや再検討を行うべきでは。

答弁 平成21年の新型コロナウイルス発生により購入した抗インフルエンザ薬の更新にあわせ、各種医療資器材の備蓄内容の見直しや再検討を行い、より適した内容へ変更するべきと認識している。今後も、感染症対策を安全・確実に実施するため、必要な施策の充実を行っていく。(健康福祉局長)

吉田 茂 議員(自民)

魅力のない都市の返上を目指す一方案

質問 スマートフォンを世界中の大半の方が利用している今日、本市を訪れる観光客をふやす鍵は、観光ウェブサイトのスマートフォン対策にあると思うが、本市の観光ウェブサイトの今後の改善策は。

答弁 次期観光戦略において、スマートフォン対応など、ウェブサイトの充実強化について盛り込んでいく。一人でも多くの観光客に旅行先として選んでいただけるよう、関係法人とともにウェブサイトの改善に取り組む。(観光文化交流局長)

服部しんのすけ 議員(自民)

保育所における「キンダー・カウンセラー」配置

質問 民間保育所等に臨床心理士などのカウンセラーを配置して、保護者などの相談を受けるキンダー・カウンセラー事業は、子どもたちにとっても有益であると思うが、本市でのカウンセラー配置に対する市長の考えは。

答弁 カウンセラーの配置はとても重要なことと思っている。以前、園長たちと話をした時に、子どもも親も保育士も大きな悩みがあると聞いた。もう一度園長たちと話し合い、きちんと予算をつけてやりたい。(河村市長)

岩本たかひろ 議員(自民)

キャッシュレスによる観光推進に向けた本市の考え方

質問 世界的にキャッシュレス化が加速している中、外国人観光客がストレスなく買い物できる環境を整備する必要があるが、キャッシュレス決済拡大に向けた本市の考え方は。

答弁 次期観光戦略において、キャッシュレス観光の推進について盛り込んでいく。今後は、関係局や民間事業者とも連携しながら、キャッシュレス決済拡大に向けて検討を進め、実証実験を市内観光施設などで今年度実施していきたい。(観光文化交流局長)

会派の略称説明

自民…自由民主党名古屋市会議員団
民主…名古屋民主市会議員団
公明…公明党名古屋市会議員団
共産…日本共産党名古屋市会議員団
減税…減税日本ナゴヤ
無ク…なごや無所属クラブ

9月定例会

提出案件の賛否

■以下の市長提出案件12件については、いずれも賛成多数により原案どおり可決(決算認定案については認定または原案どおり可決及び認定)しました。賛否と結果は下記の表のとおりです。

表の①は、次の1件です。

- 下水汚泥焼却施設整備等事業者選定審議会条例の制定
下水道事業管理者の附属機関として審議会を設置するものです。

表の②は、次の11件です。

- 平成29年度名古屋市一般会計歳入歳出決算の認定など決算認定案11件

会派名	氏名(区)	議決結果	
		① 可決	② 認定または可決及び認定
自 民	伊 神 邦 彦 議員(千種)	○	○
	中 川 貴 元 議員(東)	○	○
	渡 辺 義 郎 議員(北)	○	○
	浅 野 有 議員(西)	○	○
	小 出 昭 司 議員(中村)	○	○
	斉 藤 た か お 議員(中村)	○	○
	中 田 ち づ こ 議員(中)	○	○
	西 川 ひ さ し 議員(昭和)	○	○
	ふ じ た 和 秀 議員(瑞穂)	○	○
	服部しんのすけ 議員(熱田)	○	○
	岡 本 善 博 議員(中川)	○	○
	浅 井 正 仁 議員(中川)	○	○
	吉 田 茂 議員(港)	○	○
	坂 野 公 壽 議員(港)	議長	議長
	横 井 利 明 議員(南)	○	○
	藤沢ただまさ 議員(南)	○	○
	松井よしのり 議員(守山)	○	○
	北野よしはる 議員(守山)	○	○
	岩本たかひろ 議員(緑)	○	○
	中 里 高 之 議員(緑)	○	○
民 主	丹 羽 ひ ろ し 議員(名東)	○	○
	成田たかゆき 議員(天白)	○	○
	山 田 昌 弘 議員(千種)	○	○
	斎 藤 ま こ と 議員(千種)	○	○
	くにまさ直記 議員(東)	○	○
	服 部 将 也 議員(北)	○	○
	うえぞの晋介 議員(西)	○	○
	う か い 春 美 議員(中村)	○	○
	おくむら文洋 議員(昭和)	○	○
	土居よしもと 議員(瑞穂)	○	○
	塚 本 つ よ し 議員(瑞穂)	○	○
	森 と も お 議員(熱田)	○	○
	久 野 浩 平 議員(中川)	○	○
	加 藤 一 登 議員(港)	○	○
	橋 本 ひ ろ き 議員(南)	○	○
	小川としゆき 議員(守山)	○	○
	岡本やすひろ 議員(緑)	○	○
	松 本 ま も る 議員(緑)	○	○
	日 比 美 咲 議員(名東)	○	○
	田 中 里 佳 議員(天白)	○	○
公 明	田 辺 雄 一 議員(千種)	○	○
	長谷川由美子 議員(北)	○	○
	沢 田 晃 一 議員(西)	○	○
	中 村 満 議員(中村)	○	○
	木 下 優 議員(中川)	○	○
	ば ば の り こ 議員(中川)	欠	欠
	佐 藤 健 一 議員(港)	○	○
	福 田 誠 治 議員(南)	○	○
	金 庭 宜 雄 議員(守山)	○	○
	近 藤 和 博 議員(緑)	○	○
	小 林 祥 子 議員(名東)	○	○
	三 輪 芳 裕 議員(天白)	○	○
共 産	岡 田 ゆ き 子 議員(北)	×	×
	青 木 と も こ 議員(西)	×	×
	藤 井 ひ ろ き 議員(中村)	×	×
	西 山 あ さ み 議員(中)	×	×
	柴 田 民 雄 議員(昭和)	×	×
	江 上 博 之 議員(中川)	×	×
	山 口 清 明 議員(港)	×	×
	高橋ゆうすけ 議員(南)	×	×
	くれまつ順子 議員(守山)	×	×
	さはしあこ 議員(緑)	×	×
減 税	さいとう愛子 議員(名東)	×	×
	田 口 一 登 議員(天白)	×	×
	手 塚 将 之 議員(千種)	○	○
	田 山 宏 之 議員(北)	○	○
	鹿島としあき 議員(西)	○	○
	佐 藤 あ つ し 議員(中)	○	○
	大 村 光 子 議員(昭和)	○	○
	高 木 善 英 議員(中川)	○	○
	増 田 成 美 議員(緑)	○	○
	浅 井 康 正 議員(名東)	○	○
無 欠	鈴 木 孝 之 議員(天白)	○	○
	鎌 倉 安 男 議員(守山)	○	○

○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長のため議決に参加できない

■以下の37件については、いずれも全会一致により原案どおり可決(決算認定案については認定または原案どおり可決及び認定、人事案件については同意)しました。

市長提出案件(31件)

《条例案》

- 総合リハビリテーションセンター条例の一部改正
就労定着支援などの実施に伴い、規定を整備するものです。
- 区役所支所の設置並びに名称及び所管区域に関する条例の一部改正
町の区域の設定に伴い、緑区役所徳重支所の所管区域の表示を変更するものです。
- コミュニティセンター条例の一部改正
中村区に設置するコミュニティセンターの名称と位置を定めるものです。
- 屋外広告物条例の一部改正
眺望景観の保全を図るため、広告物などの規格に関して必要な事項を定めるものです。
- 建築基準法施行条例の一部改正
建築基準法の一部改正に伴い、手数料に係る規定を整備するものです。

《補正予算》

- 平成30年度名古屋市一般会計補正予算(第3号)など4件(詳細は、1面)

《決算認定案》

- 平成29年度名古屋市市場及びと畜場特別会計歳入歳出決算の認定など8件

《一般案件》

- 損害賠償の額の決定(東部・西部医療センターにおける医療事故3件)
- 指定管理者の指定(第二斎場など5件)
- 名古屋港内の公有水面埋立て(2件)
公有水面埋立法に基づき、異議なき旨の意見を提出するものです。
- 市道路線の認定及び廃止
- 訴えの提起
陽子線がん治療施設の一時凍結等により、その期間の運転等管理費を支払う必要がないことの確認を求めるものです。



《人事案件》

- 教育委員会の委員選任 ●愛知県公安委員会の委員推せん

議員提出議案(6件)

《意見書》

- 賃貸物件による保育所に対する補助制度の拡充に関する意見書
賃貸物件による保育所において、賃借料加算の単価の引き上げと、より実勢に適合した単価に改めることなどを強く要望するものです。
- 下水道施設の改築に係る国庫補助の継続に関する意見書
下水道の公共的役割に対する国の責務は新設時も改築時も変わるものではないことから、下水道施設の改築に係る国庫補助を継続するよう強く要望するものです。
- ヘルプマーク及びヘルプカードのさらなる普及促進を求める意見書
各地方公共団体が行うヘルプマーク及びヘルプカードの普及や理解促進の取り組みに対しての財政的な支援を充実させることなどを強く要望するものです。
- 被災者生活再建支援法の支援対象拡大に関する意見書
相次ぐ大規模災害による建物被害の状況を踏まえ、被災者生活再建支援法の支援対象の拡大を検討するよう強く要望するものです。
- 生活保護受給世帯の冷房器具設置に関する意見書
冷房器具の購入費用支給の対象者について、冷房器具の持ち合わせがない全ての被保護世帯を対象とすることなどを強く要望するものです。

📄 意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。



《その他》

- 地域環境審議会委員の推薦

平成29年度決算認定案の委員会審査

■ 常任委員会で審査された項目の一部をご紹介します。

📺 委員会の議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)から録画中継を視聴できます。

総務環境委員会	○特定の局に超過勤務時間が集中していることや精神疾患による休職者が多い状況を踏まえた職員配置に対する考え方 ○資源分別率の推移を踏まえた資源の分別収集方法の検討状況
財政福祉委員会	○がん検診の受診者数及び受診率の推移と受診率の目標達成に向けた取り組み ○市が保有する資産(土地・建物など)量の適正化に向けた取り組み状況及びその進捗に対する認識
教育子ども委員会	○老朽化した子ども青少年局所管の施設整備についての考え ○天白養護学校の事業を踏まえた特別支援学校における教員配置及び常勤講師の任用のあり方についての認識と外部的観点の導入に対する考え
土木交通委員会	○墓地区画整備の進捗状況や区画の貸し付け数の推移を踏まえたみどりが丘公園における墓地公園整備事業のあり方の検討状況 ○市バスや地下鉄における発災時の対応に関する案内放送の実施状況
経済水道委員会	○名古屋城の集客力向上の取り組みに対する評価 ○平成29年度における空き家等対策の推進状況
都市消防委員会	○中志段味特定土地区画整理事業に関し、市の検証結果を踏まえた事業費に対する見解及び本事業における責任の所在 ○消防団の充足率向上に向けた平成29年度の取り組み及び検討状況